

第2学年2組 体育科学学習指導案

1. 単元名 鉄棒を使った運動遊び・ドッジボール

2. 本時の学習指導

(1) ねらい

○支持しての上がり下がり、ぶら下がりや易しい回転ができる。(技能)(鉄棒を使った運動遊び)

○ボールを投げる、捕る、ボールをかわす動きができる。(技能)(ドッジボール)

(2) 準備

・ソフトドッジボール ・ラインマーカー

(3) 展開 ○指導、◆評価、◎十分満足できる具体的な姿、△努力を要する児童への手立

段階	学習内容・活動	指導上の留意点
導入 10分	1 集合・整列・挨拶をする。 2 準備運動を行う。 (かえるの脚倒立・バービー)	○それぞれの動きが、ただ行うだけにならないように、一つ一つのポイントを確認して行えるようにする。 ○児童が手をつくときなど、準備運動の環境に配慮するようにする。
展開 ① 15分	3 鉄棒を使った運動遊び 慣れの運動をする 4 前回りリレーを行う。	○よい動きをしている児童を称賛し、全体に広めるようにする。布団干し・前回りおりなど授業ですでに扱っているところは児童に特に意識するよう促す。 ○手が逆手になっていないか、確認するようにする。 ○早く次の回転に移るために、降りる位置・踏み切る位置について工夫できている児童を取り上げるようにする。
	ねらい 友だちと一緒に逆上がりを楽しむことができる	
	5 逆上がりのポイントを全員で	○逆上がりが得意な児童の様子を全員で確認し

	確認する。 ・腕がしっかり曲がっているか。 ・おへそが鉄棒にくっついていないか。 ・回るときにつま先が、回る方向に向いているか。 5 班ごとに練習を行う。 6 逆上がりリレーを行う。	ながら、一つ一つ逆上がりのポイントをおさえる。 ○ポイントを全員が理解しやすいように、横から見させるなど児童の見る位置について工夫するようにする。 △できない児童に対しては、班員に補助をするよう指示する。 ○競わせることで、できる児童・できない児童両方の意識向上を図る。 ◆支持しての上がり下がり、ぶら下がりや易しい回転ができる。(技能)																
展開②	ねらい 外野をうまくつかって、ドッジボールを楽しむことができる																	
20分	7 キャッチボールを行う。 8 ゲームを行う。 ・外野あり。 ・各班4名ずついるので、2名が内野・2名が外野に分かれる。 ・ゲーム（1分）をし、勝った班が左にずれ攻守交代をする。 ・全4ゲームほど行う。 9 本時のまとめを行う。 ・外野を生かすために、パスをうまく使うことができていた。 10 整理運動を行う。 11 挨拶・用具の片づけをする。	○ボールの投げ方、捕り方について児童の間を回りながら指導する。 (右側：鉄棒のある方) <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>7 班</td><td>5 班</td><td>3 班</td><td>1 班</td></tr><tr><td>8 班</td><td>6 班</td><td>4 班</td><td>2 班</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ○全員があてる経験・あてられる経験をするよう配慮する。 ◆ボールを投げる、捕る、ボールをかわす動きができる。(技能) ◎外野がすぐにボールを投げることで、逃げるのがおくれ相手にボールをぶつけている。 ○作戦等を立てていた班を中心に、どのように協力すればチーム全員で楽しめのか発表しながら全員でおさえる。 ○外野がいることで何ができるようになったかを考え、まとめとする。					7 班	5 班	3 班	1 班	8 班	6 班	4 班	2 班				
7 班	5 班	3 班	1 班															
8 班	6 班	4 班	2 班															